Wilms6

300415

□要

□明

Wilms6□胞株は、生殖□胞系列のWT1突然変異を持つ小児患者の原発性Wilms腫瘍から樹立された。この□胞株は、WT1遺伝子のホモ接合性ナンセンス変異（c.1168 C>T, p.R390X）によって定義され、その結果、 WT1タンパク質は切断され、機能しなくなる。 WT1は腎臓発生の重要な制御因子であり、その欠損はウィルムス腫瘍、特に間葉系分化を示す症例と強く関連している。 Wilms6□胞株は、特に上皮性と間葉性の両方の特徴を示す腫瘍において、 WT1完全欠損の腫瘍形成効果を研究するための重要なモデルである。
Wilms6□胞はCTNNB1遺伝子にも変異を有しており、特にβ-カテニン分解を制御するリン酸化の重要部位であるセリン 45（p.S45F）に影響を及ぼしている。この変異は、 β-カテニンの安定化と核内蓄積を引き起こし、その結果、 Wntシグナル伝達経路が恒常的に活性化される。 Wntシグナル伝達の異常な活性化は、ウィルムス腫瘍における □胞増殖と腫瘍形成の原動力であることが知られており、 WT1変異を有する腫瘍におけるWnt経路調節異常の役割を調べる上で、ウィルムス 6は貴重なツールとなる。
表現型的には、Wilms6□胞は間葉系の形態を示し、ビメンチンが強く発現し、サイトケラチンのような上皮性マーカーが存在しない。これらの □胞は、特定の条件下で筋肉様□胞に分化する能力を含む、限定的ではあるが注目すべき分化能を有することが示されており、これはいくつかのウィルムス腫瘍で観察される間葉系分化を反映している。ウィルムスのプロテオミクス研究6により、PDGFRβやAXLを含む複数の受容体チロシンキナーゼ（RTK）の活性化が同定されており、これらは□胞の生存、増殖、遊走の促進に関与している。 MAPKやPI3K/ACTのようなシグナル伝達経路の下流での活性化は、この □胞株の攻撃性をさらに強調している。
全体として、Wilms6□胞株は、特にWntシグナル活性化と組み合わさったWT1完全欠損の場合、Wilms腫瘍発生の根底にある分子メカニズムを探求するための重要なモデルとして役立つ。その遺伝的および表現型の特徴から、 WT1の欠損と異常なシグナル伝達経路との相互作用を研究するための優れたプラットフォームであり、この侵攻性の腫瘍型に対する潜在的な治療標的についての洞察を与えてくれる。

ティッシュ	腎臓
病気	ウィルムス腫瘍

用途

In vitro□胞培養モデル生化学的研究

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	スピンドル型
細胞の種類	ウィルムス□胞

識別子

引用

Wilms6（Cytionカタログ番号300415）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_A5SI

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

変異プロファイル

WT1変異状態：ホモ接合体 c.1168C>T ′ p.R390x ′ LOH：11p11-11pter ′ CTNNB1変異状態：ホモ接合体 del TCT ′ p.DS45

取り扱いと飼育

培地

MSCGMキット（ロンザ社製）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。
解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。 80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	15ヶ月
民族	白人

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB